

2020

3

No.317

『だれもが その人らしく 安心して暮らせる福祉社会の実現』をめざして

いばらきの 社会福祉

Social Welfare of Ibaraki

ふくし“きらり人。”
任命しました!



ふくし“きらり人。” 菊地 美姫さん

ふくし“きらり人。”とは—

福祉の仕事に対するイメージアップを図るため、福祉施設や事業所で働く方や福祉を学ぶ学生のうち、きらりと輝く人物を“きらり人。”として任命します! 今後、“きらり人。”には、県社協の実施する事業を通じて福祉の魅力伝えていただく予定です。

CONTENTS

2 3 4 県社協が実施する各種事業のご案内
・もしものときに…日常生活自立支援事業を知っておきましょう! ほか

5 茨城県からのお知らせ
・福祉人材の確保に向けた支援の取り組み

6 7 地域福祉活動レポート
株式会社タイヨー、鹿嶋市社会福祉協議会
「健康チェック×鹿嶋おでかけ隊 (買い物支援)」

8 9 ふくし“きらり人。”
菊地 美姫さん

10 市町村社協職員リレートーク

11 インフォメーション

12 わかち合おう小さな善意

はんどちゃんを紹介

はんどちゃんは、「福祉コミュニティづくり県民運動」のキャラクターとして茨城県社会福祉協議会、茨城県内の市町村社会福祉協議会を中心に活躍しています。



ふれあいネットワーク



社会福祉 茨城県社会福祉協議会
法 人

この広報誌は一部赤い羽根共同募金の配分を受けています。

県社協が実施する各種事業のご案内

もしものときに… 日常生活自立支援事業を知っておきましょう！

高齢や障害により判断能力に不安があり、福祉サービスの利用手続やお金の管理が難しい方が利用できるサービスです。

このサービスを通じて、次のようなお手伝いができます。

- ① **福祉サービスを利用するためのお手伝いをします**
 - 福祉サービスの内容や利用手続きについて分かりやすく説明します。
 - 福祉サービスの利用開始や終了するための手続きをお手伝いします。
 - 福祉サービス利用での苦情解決制度を利用する手続きについてお手伝いします。
- ② **ふだん使うお金の出し入れや支払いをお手伝いします**
 - 福祉サービスの利用料や公共料金の支払いを代行します。
 - 年金の受取に必要な手続きを行います。
 - 預貯金の払い戻しや預け入れの手続きを行います。
- ③ **大切な書類をお預かりします**



市町村社協の職員（専門員・生活支援員）が定期的に訪問させていただき、お手伝いいたします。

※このサービスは、適正な運営を確保するために2つの第三者機関（契約締結審査会及び運営適正化委員会）を設置しており、利用者が安心して金銭管理や書類預かりサービスを利用できる仕組みとなっています。

利用料金（令和2年3月現在）

- 1時間あたり 1,100円
- 大切な書類のお預かり（1か月あたり） 500円

サービス利用者数の推移（過去5年間）

年度	26	27	28	29	30
利用者数	818名	887名	920名	938名	988名

▲ご利用される方は年々増えています。

問 お住まいの市町村社協または県社協生活支援部 TEL：029-241-1134

資格を活かした再就職に貸付金をご利用ください！

介護や保育の資格をお持ちの方が、事業所や保育所などに再就職するための資金を貸し付けています。

区分	貸付金の名称	貸付金額	必要な資格等	貸付対象者
介護	離職介護人材再就職準備金貸付金	上限40万円	介護福祉士・実務者研修修了者・介護職員初任者研修修了者のいずれか	介護職の実務経験1年以上で、再就職する方（再就職前に茨城県福祉人材センターに登録が必要）
保育	潜在保育士就職準備金貸付金	上限40万円	保育士	保育所等を退職後1年以上経過している保育士
	未就学児保育料一部貸付金	保育料の半額1年間（月額上限2万7千円）	保育士	未就学児をもち、新たに保育士として勤務した方、又は産休・育休から復帰した方

※上記以外にも要件がありますので、詳細はお問い合わせください。

問 福祉人材・研修部（人材自立育成担当） TEL：029-350-8366

不動産を担保とした生活資金貸付のご案内

低所得の高齢者世帯に対し、居住用不動産を担保とした生活資金の貸付を行っております。

主な要件

- 借入申込者と配偶者、その親以外の同居人がいないこと。
- 世帯の構成員が65歳以上であること。
- 推定相続人の中から保証人を選任すること。
- 居住している不動産の土地の評価額が1,000万円以上であること。
- 居住している不動産に賃借権等の利用権および抵当権等の担保権が設定されていないこと。

申込 お住まいの市町村社協

相談 お住まいの市町村社協または県社協生活支援部

TEL：029-244-4559

貸付限度額
土地評価額の70%
月30万円以内



第24回茨城県健康福祉祭いばらきねりん文化祭 入賞者について

県内の60歳以上のアマチュアの方を対象とした「わくわく美術展」には、日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真の6部門へ583点の応募があり75名が入賞しました。

また、県内の小学生を対象とした「ぼく☆わたしのおいちゃん☆おばあちゃんの絵コンクール」では、2,390点の応募があり、38名が入賞しました。

「わくわく美術展」の茨城県知事賞受賞作品は、今年開催される「ねりんピック岐阜2020」の美術展に、本県代表として出品される予定です。

わくわく美術展・茨城県知事賞				ぼく☆わたしのおいちゃん☆おばあちゃんの絵コンクール・茨城県知事賞	
日本画	林 加代子	國嶋 政司		低学年	大山 芽生
洋画	鄭 春子	高野 明美		中学年	菊池 準太郎
彫刻	安藤 政藏			高学年	木田 武
工芸	渡辺 うた子	福島 次男			
書	堀田 松子	田中 淳			
写真	加藤 芳子	飯田 光信			

(敬称略)

令和2年度の社会福祉事業従事者研修 新任職員研修の予定について

区分	研修名	対象者	日程	日数	会場	募集人数
新任職員研修	新任職員研修A (高齢者・児童分野：県南)	経験2年未満の福祉施設及び社協職員等	4/23～24	2	亀城プラザ	90
	新任職員研修B (保育・障害児者分野：県央)	経験2年未満の福祉施設及び社協職員等	4/27～28	2	県総合福祉会館	90
	新任職員研修C (高齢者・児童分野：県央)	経験2年未満の福祉施設及び社協職員等	5/ 7～ 8	2	県総合福祉会館	90
	新任職員研修D (保育・障害児者分野：県南)	経験2年未満の福祉施設及び社協職員等	5/25～26	2	亀城プラザ	90

※研修日程は変更になる場合があります。

※来年度の全日程については、研修システムのページへ⇒https://www.ibaraki-kenshu.jp/kenshu_user/

QR コードはこちら▶



インターネットで「福祉のお仕事」検索

茨城県福祉人材センターでは、茨城県から委託を受けて、福祉・介護・保育など、福祉分野全般の無料職業紹介を行っています。来所による窓口での相談の外、インターネットを通じて、「福祉のお仕事」ホームページからの求人・求職登録を受け付けています。

求人・求職登録の外、福祉の資格に関する情報や、福祉に関する統計情報なども掲載されています。

福祉の仕事に興味・関心のある方は、是非一度ご覧下さい。



福祉のお仕事

検索

本会名誉会長が「第18回渋沢栄一賞」を授与されました。

この度、本会 関正夫名誉会長が、優れた経営と社会貢献を行う企業経営者として「第18回渋沢栄一賞」を授与されましたので、お知らせいたします。

詳細は以下の埼玉県庁ホームページの「第18回渋沢栄一賞の受賞者について」にてご覧いただけます。

■埼玉県庁ホームページ内「第18回渋沢栄一賞の受賞者について」

URL : <https://www.pref.saitama.lg.jp/a0801/18thprizewinner.html>



大野元裕埼玉県知事(左)と関正夫名誉会長(右)

県社協が実施する各種事業のご案内

CI会の活動紹介

社会福祉事業を行う専門的な団体として、私たち社協がどうすれば地域福祉にもっと貢献できるのだろうか。地域共生型社会の実現が叫ばれている今、私たちがその実現を目指すためにできることは何なのだろう…。そんな思いからスタートした私たちCI会の活動をご紹介します。

1 CI(シーアイ: Corporate Identity) 会の立ち上げ

県社協の職員として、私たちは何ができるのか。そんな思いから職員の有志によって立ち上げたのが「CI会」です。はじめは、職員の持つ知識、専門性、情報などを共有することで地域福祉の向上に貢献し、組織の存在価値を高めることを目的とした勉強会でした。現在、勉強会からスタートしたCI会は、6名の職員で推進グループを構成し活動を行っています。

2 ファンドレイジングと新規事業の模索

推進グループとして活動を始めたCI会では、より良い福祉活動を継続的に進めていくためには、活動を継続するための「資金」調達と、活動を支える「仲間」づくりが必要と考えました。そこで、取り上げたのが資金調達と仲間づくりの手法としての「ファンドレイジング」です。

ファンドレイジングは狭義には資金調達を意味しますが、民間非営利団体が事業を行う上で必要な事業収入だけでなく、「ひと」「もの」という福祉事業を推進するには欠かせない資源獲得にもつながるものです。これらを踏まえ、CI会では寄付付自販機の推進や、県内の社会福祉事業を実施している施設等を対象に、ファンドレイジングに関する研修会を開催し、県内の福祉力の向上を図ってきました。そして研修を行う傍ら、県社協として実施する新規事業についての議論を行いました。

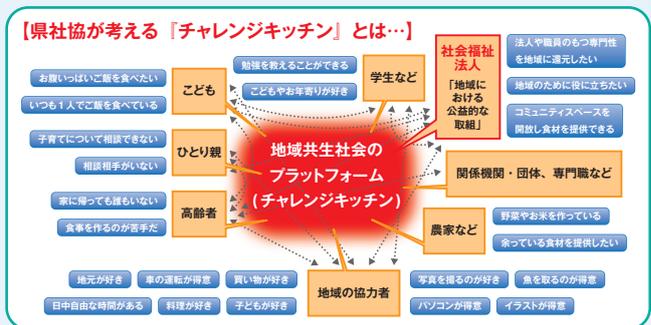
議論の柱となったのは、地域共生型社会の実現をどのように目指すか、地域にたくさんある福祉課題をどのようにとらえるか、県社協として何ができるか、でした。そして、約半年以上の議論を重ね実施を決定したのが「地域における公益的な取組『チャレンジキッチン』」モデル事業でした。



3 チャレンジキッチンモデル事業のはじまり

『チャレンジキッチン』は、地域との交流拠点の創出を目指した事業です。生きにくさや、悩みなどを抱えてしまったとき、参加する方一人ひとりが自分自身が地域の一員としてかけがえのない存在であることを実感できる場所を、地域に作りたいと願った事業です。

しかし、居場所づくりは県社協だけで行うことはできません。地域に根付き継続していくためにはどうしたらよいか、議論の末、いきついたのは地域で活躍している社会福祉法人です。多くの社会福祉法人が、県内各地で活動をしています。そして、生活困窮者支援をはじめとした、社会福祉法人の公益的取り組みの社会的要請が強まっているなか、どんなことをしていけばいいのか模索している現実がありました。ならば、社会福祉法人に「地域における公益的な取組」として、モデルを提供してはどうか。そこで得たものを、県内各地域に広げていけるようにすることで、県域の社協としての役割を果たせるのではないかと。そこで、一緒に『チャレンジキッチン』を実施する法人を募集し、県内の2法人と共に事業を進めることにしました。



4 チャレンジキッチンスタートに向けて

応募いただいた法人は、古河市の社会福祉法人亮和会と筑西市の社会福祉法人征峯会の2法人です。どちらの法人も、それぞれ違う個性と特徴を持っています。そのため、同じ『チャレンジキッチン』という名称であっても、その内容は法人の特色や地域性に合わせ、オープンに向けて検討を重ねています。

征峯会も亮和会も、2月にプレ実施を行い3月以降に本格実施を目指して準備中です！
今後、実施の状況は随時報告していきますので、皆様、応援よろしくお願いします！

茨城県からのお知らせ

福祉・介護分野における外国人材の確保に向けた支援の取り組みの一部を紹介します。



県社協が実施する対象の事業

●茨城県福祉人材センター

福祉の仕事我希望する方と人材を求める県内の社会福祉施設・介護保険事業所等への架け橋となる無料職業紹介を行っています。その他、福祉の仕事に関する情報提供や関連する講座なども実施しています。

●介護福祉士修学資金等貸付

令和2年度から、入学前貸付内定の対象者を「現役高校生」から「留学生を含めたすべての者」に拡大しました。また、令和元年度には連帯保証人が立てにくい外国人の方も利用しやすいよう、法人保証制度を創設しています。

- 内容**
- ・介護福祉士養成校の学生等に、2年間で最大168万円の貸付を受けることができます。
 - ・茨城県内で介護福祉士として介護等の業務に5年間従事すれば、返還が免除されます。

●実務者研修資金貸付

介護福祉士修学資金等貸付と同じく、法人保証制度を創設しました。

- 内容**
- ・介護福祉士実務者養成施設在籍者に対し、実務者研修受講費用を最大20万円の貸し付けを受けることができます。
 - ・修了後1年以内に介護福祉士国家試験に合格し、2年間従事すると返還が免除されます。

他団体が実施する外国人材を対象とする事業

●茨城県外国人介護人材育成ビギナーズ研修（集合研修）

日本語や介護技能等を向上することを目的とした外国人向けの集合研修（4日間）を実施しています。（参加費無料）

連絡先（委託先） いばらき中央福祉専門学校 TEL 029-259-9292

●茨城県外国人材支援センター

茨城県外国人材支援センターでは、専門のアドバイザーが常駐しており、県内での就労を希望する外国人（留学生を含む）と県内企業との就職マッチング支援、外国人材を雇用したい企業への各種支援、セミナーの開催、専門家派遣などの支援を行っています。

連絡先 水戸市千波町後川745 ザ・ヒロサワ・シティ会館分館1階 TEL 029-239-3304

●日本語学習支援 e-ラーニングシステム

県内外国人の日本語能力の向上や就労に必要な知識の習得等を図り、地域住民との共生、県内企業で円滑に就労できる環境を整備することを目的として、県内企業及び在住外国人の方に無償で提供しています。（対応言語：英語、インドネシア語、ベトナム語、ビルマ語）

申込先 お申込みフォーム<https://nihongo-ibaraki.jp/form/>

いばらきふくしのおしごとナビ

■いばらきふくしのおしごとナビ URL

<https://fukushi.pref.ibaraki.jp/>



いばらきふくしのおしごとナビでは、福祉を学びたい方、福祉の仕事に興味・関心のある方に向けて様々な情報を発信しています。各種支援制度や福祉に関するイベントなど、最新の情報をメールマガジンでも配信していますのでぜひご登録ください。

はんどちゃんネットワーク運動
地域福祉活動
レポート!

令和2年1月21日取材



株式会社タイヨー・鹿嶋市社会福祉協議会 「健康チェック× 鹿嶋おでかけ隊(買い物支援)」 (鹿嶋市)



左から、茨城県保健生協の木村榮さん、株式会社タイヨーの諸岡良至さん、鹿嶋市社会福祉協議会の大川文恵さん

地域の高齢者に向けた買い物支援サービス

「2018年2月に『共に創る大東会議』を行った際に、ご高齢の方から『ひとりで買い物や病院に行くのが難しい』というお悩みが寄せられました。そこで、そうした方々への『買い物支援』や介護予防活動の一環として『健康チェック』をはじめようと考えたのです」と語るのは、社会福祉法人鹿嶋市社会福祉協議会の大川文恵さん。

2018年7月、「鹿嶋市外出支援ボランティア養成講座」に参加した鹿嶋市大同東地区の住民が主体となり、ボランティア団体の「鹿嶋おでかけ隊」を結成し、12月から鹿嶋市のスーパーマーケットのタイヨー・サンポート店(以下「タイヨー」)で買い物支援をスタートしました。現在では、毎月第3火曜日に平均6名の「鹿嶋おでかけ隊」のボランティアが参加し、交通手段がなく、ひとりで買い物



買い物支援の様子。買い物中は傾聴ボランティアの方が買い物をお手伝い!



自宅からタイヨーまで送迎を行っています。

に行くのが難しい方や重いものを運ぶのが困難な方を対象に、ご自宅からタイヨーまでの送迎をはじめとした買い物支援を行っています。

健康チェックと買い物支援が結びついた「食と健康」サービス

さらに健康チェックについて、茨城県保健生協のさわやか班代表を務める木村榮さんは次のように語ります。

「もともとタイヨーさんのほかの店舗で実施していた健康チェックを鹿嶋市でも実施したいと思い、株式会社タイヨーの諸岡さん、鹿嶋市社協の大川さんに相談をさせていただいたのが始まりです。その後、鹿嶋市介護長寿課・保健センター、鹿



健康チェックの様子。毎回多くの方が参加します。



骨密度測定では骨の中にあるカルシウム・マグネシウム量を計測します。

嶋市地域包括支援センター、白十字総合病院、ケアハウス鹿島の杜、特別養護老人ホームなどの皆様のご協力もあり、『まちかど健康チェッ

ク』をスタートすることができました」(木村さん)

健康チェックでは、「鹿嶋おでかけ隊」と同様、毎月第3火曜日にタイヨーで血圧・体組成・骨密度の無料測定を行い、その結果に基づいて、栄養士や保健師に介護相談、栄養相談等ができる場を提供しています。

「健康チェックにご参加いただく方同士がお知り合いとなつて、近況報告を行っている光景を目にすると、この場所が地域の方の『横のつながりを形成する場』としても機能していると実感していますね。また健康相談で栄養面についてアドバイスを受けると、早速タイヨーさんで不足しがちな栄養素を補う食材を購入する方もいるなど、買い物支援と健康チェックは『食と健康』という面において、密接に結びついていると思っています」(木村さん)

こうした地域活動について、株式会社タイヨーの諸岡良至さんは次のように語ります。

「当社では「食の流通を通して地域社会に奉仕する」事を経営目標に掲げておりますが、食品を販売するだけではなく、地元の企業として地域に役立つ活動を行いたいという思いから、3年前に『地域振興課』を発足しました。その後、多くの方とご縁もあり、この度の買い物支援や健康チェックを実現することができました。また、地域の『子ども食堂』に、食材の提供や当社の日本人スタッフをはじめ、



「子ども食堂」で食材の特徴を子どもたちに教えるタイヨーの諸岡さん

ベトナムからの研修生も参加したりなど、多くの方との交流をさせていただいております。今後も地域活動には積極的に参加し、活動に参加する社員の輪も広げ、持続的な活動にしていきたいと思っています」(諸岡さん)

健康チェックの課題と今後の活動目標

最後に木村さんと大川さんに今後の活動や取り組みについてお話を伺いました。

「健康チェックを開始してから2年が経とうとしていますが、ご利用いただいている方から『今後は世代間交流ができる場として今よりも参加者の間口を広げていくのはどうか?』というお声もいただいておりますので、今後はより多くの方々が気軽に足を運んでいただける場所としてPRしていきたいと思っています。そしてゆくゆくは世代を問わず、地域の方々が集う憩いの場としても機能していければいいですね」(木村さん)

「誰もが安心して暮らせる地域づくりでは、なによりも『人とのつながり』が大切だと思っています。健康チェックや買い物支援のように、住民組織同士のネットワーク化が地域の絆を深め、地域力を高めることにつながります。今後も地域の方々と手を取り合いながら、住民の皆さんの『心の居場所作り』を行っていききたいですね」(大川さん)

「将来にわたって安心して住みやすい地域づくり」は、高齢化が加速している日本において欠かせない要素のひとつです。地域住民の方々の想いが強固な糸でつながったこうした地域コミュニティは今後、より一層必要とされていくのではないのでしょうか。



地域の茶道教室にタイヨーのベトナム研修生が参加しました!

ふくし“きりり人。”

きくちみき
菊地美姫さん

社会福祉法人関耀会
デイサービスセンター まごころの杜



今回ご紹介する「ふくし“きりり人。”」は、日々、利用者とのコミュニケーションを大切にデイサービスに従事している優しい笑顔が印象的な菊地さん。福祉の道に進んだきっかけや今後の目標についてお話を伺いました。

祖父母への想いから、福祉の道を決意——

福祉の仕事を目指すことに決めた理由について、『社会福祉法人関耀会 デイサービスセンター まごころの杜』の菊地美姫さんは次のように当時を振り返ります。「私は幼いころから祖父母が大好きだったこともあり、お年寄りの方を見かけると、お手伝いや手助け

など、『なにかしてあげたい』という気持ちになることが多くありました。高校3年生のとき、担任の先生や友人に今後の進路について相談したところ、周りの方から、『お年寄りの方へのそうした気持ちを福祉の仕事として、活かしてみたらどうかな?』といわれたことがきっかけで、福祉の道に進もうと決心しました」(菊地さん)

高校卒業後は、老健施設に就職、美容業界に転職したのち、福祉の仕事に復帰。現在の『まごころの杜』で働くことになったそうです。

「一度、福祉から離れたことで、『福祉の仕事の素晴らしさ』について改めて考えさせられました。毎日、利用者と一緒に楽しい時間を共有できることはもち

感謝の言葉で心が満たされる



ろん、福祉の仕事を通してこれからの自分の成長にもつながると思い、再び福祉の仕事に戻ろうと思いましたが」(菊地さん)

利用者第一に考え、勉強の毎日!

現在は、スタッフ5名で約20人の利用者を支援しています。送迎はもちろん、施設では血压等のバイタルのチェック、入浴介助、制作活動・体操、昼食介助、レクリエーションなど、さまざまな仕事を行っている菊地さん。仕事をする上で、「目配りや気配り」を大切にしているといいます。

「基本的なことですが、デイサービスという仕事上、送迎で車の運転を行う際には、乗車している利用者が不安にならないように、細心の注意を払っています。また、利用者と同じ目線の高さでお話やコミュニケーションを図るように心がけています」(菊地さん)

とはいえ、福祉の仕事は勉強の毎日で、ときには先輩スタッフの方からアドバイスもいただくこともあるそうです。

「利用者の表情や言動などの些細な変化に気づけるように注意していますが、それだけではなく利用者が『本当はいま何を思っているのか？ 気持ちの奥底の部分までを理解しようとするのが大切だよ』というアドバイスをいただきました。利用者やスタッフと笑い合ったり、ときには悩みを相談し合ったり、沢山コミュニケーションを図ることで、お互いの理解が深まり、信頼関係が構築されていくことの重要性に改めて考えさせられました」(菊地さん)

それ以外にも、「目の前の利用者とは話をしているときでも、背後の利用者にも気を配れるような広い視野を持つこと」「何事も利用者第一に考えて行動すること」など、仕事をしながら多くのことを学んでいるといいます。

働きながら“福祉のやりがい”を実感

「たとえば、入浴後に『気持ちよかった』『さっぱりした!ありがとう』など、笑顔で感謝の言葉をかけていただいたときは本当に嬉しく心が満たされますし、ときには利用者が楽しそうに体操している姿をみるだけでも私まで自然と笑顔になります! 今後は現状に満足するのではなく、さらにより良い支援ができるように、介護福祉士の資格取得や認知症について深く勉強し、仕事に活かしていきたいと思っています!」(菊地さん)

最後に、これから福祉の道に進もうと考えている方にメッセージを頂きました。

「福祉は人と人との仕事です。御世話をするのが好き、人と接するのが好き、誰かの為に動きたいなど、少しでも福祉の仕事に興味をもたれているのであれば、まずは行動してみることが大切なのではないでしょうか。きっと皆さんのご家族やご自身の将来に役立つと思いますよ」(菊地さん)

“きらり”と輝く笑顔で利用者やスタッフと寄り添っている姿が印象的な菊地さん。利用者やスタッフの方からの人望も厚く、その素直な気持ちと行動力で、今後のますますの活躍が期待されています。



利用者と一緒に楽しくレクリエーション♪

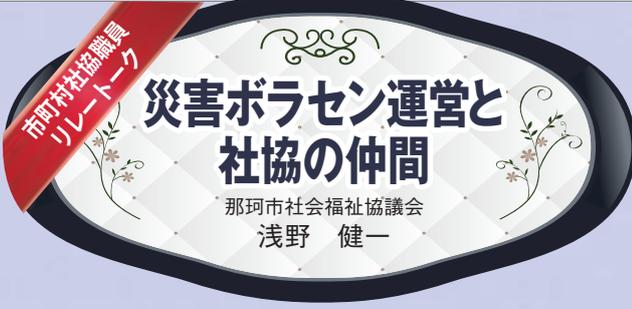


利用者と一緒に笑顔溢れる毎日!



会話をするときには「目線」を意識!





那珂市社会福祉協議会
浅野 健一

11月のとある夕方、災害ボラセン運営で忙しいはずの常陸太田市社協多賀谷さんから携帯に電話があり「浅野さんをお願いがあって…」とのこと。疲れてボロボロの多賀谷さんの頼みを断ることなどでできません。ということで、リレートークを引き継ぎました。

何を書こうかあれこれ悩みましたが、災害ボランティアセンターと社協職員のつながりについて書いていこうと思います。

今回の台風19号による水害では、県内でも広範囲にわたり被害をもたらし、5市町で災害ボランティアセンターが立ち上げられました。那珂市でも床上浸水の地域があり、通常業務の中で災害ボランティア活動を実施しましたがそれと並行して、10月15日から大子町災害ボランティアセンター運営のお手伝いに入らせていただきました。10月といえば、どの社協でもものすごく忙しいはず。それでも毎日交代で職員を派遣し続けられたのは、

「仕事」という理由というよりは、社協の仲間を想う気持ちがあったからこそだと感じました。

これは、地域づくりと同じで、普段からのつながりがあって、相手の顔を思い浮かべられるからこそ「なんとかしたい! なんとかしなきゃ!」という気持ちになるのだと思います。地域に対して「支え合いが重要です! だから普段からつながっている必要がありますよ」と言っている私たち自身も、普段から社協職員同士つながっている必要があるのだと思います。

そのつながりづくりの場として、社会福祉協議会職員連絡協議会(職連協)がありますが、最近ではメリットデメリットという判断基準などによって、会員が減少しつつあります。これは、職連協に限ったことではなく、地域の自治会や子ども会、青年会、高齢者クラブなども同じで、ドライな判断基準のために「本当に必要なコト」が見えなくなってしまうように感じます。

SNSなどで気軽につながることも良いですが、SNSは手段に過ぎず何のために人とつながるのか、改めて考え直す時期に来ているのではないのでしょうか?

さて次は、ボヌール会議でつながった、五霞町社協期待の若手倉持さんへバトンタッチ!

令和2年度
社会福祉施設
総合損害補償

しせつの損害補償

インターネットで保険料試算できます
ひくしの保険 検索

老人福祉施設、障害者支援施設、児童福祉施設の
事故・紛争円満解決のために!

プラン1 施設業務の補償 (賠償責任保険、財産総合保険等)

■ 基本補償(賠償・見舞)

▶ 保険金額		▶ 年額保険料(掛金)	
	基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)	基本補償(A型)
身体賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円	1~50e 51~100e 100e以降1e~10e増ごと
財物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円	35,000~81,460円 66,270~97,000円 1,500円
受託・管理財物賠償(賠償中)	200万円	200万円	基本補償(A型) 保険料 + [見舞費用加算] 定員1名あたり 入所: 1,300円 通所: 1,390円
うち現金支払限度額(賠償中)	20万円	20万円	
人格権侵害(賠償中)	1,000万円	1,000万円	
身体・財物の損壊に伴う賠償請求損失(賠償中)	1,000万円	1,000万円	
徘徊時賠償(賠償中)	2,000万円	2,000万円	
事故対応特別費用(賠償中)	500万円	500万円	
被害者対応費用(1名につき)	1事故10万円限度	1事故10万円限度	
傷害見舞費用		死亡時100万円 入院時1.5~7万円 通院時1~3.5万円	

◆加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。

スケールメリットを活かした
充実した補償と
割安な保険料
です。

プラン2 施設利用者の補償
プラン3 施設職員の補償
プラン4 社会福祉法人役員等の補償

● このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問い合わせは下記までお願いします。●

団体契約者 社会福祉法人 **全国社会福祉協議会**
(引当金事務) 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03(3349)5137
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)
損害保険ジャパン日本興亜は、契約者助成部が所管を継承して、2020年4月1日に名称を変更し、「損害ジャパン」になりました。

取扱代理店 株式会社 **福祉保険サービス**
〒100-0013 東京都千代田区麹町3丁目3番2号 新麹が間ビル17F
TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763
受付時間: 平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)

INFORMATION

お知らせ

令和2年4月1日から
茨城県総合福祉会館が
敷地内全面禁煙になります。

施設設置者である茨城県では、茨城県総合福祉会館が子どもから高齢者まで様々な世代の県民が交流し、福祉に触れる拠点施設であることを踏まえ、令和2年4月1日から駐車場を含む会館敷地内を全面禁煙とすることといたしました。

また、電子たばこや加熱式たばこ及び、敷地内での車内喫煙も禁煙の対象です。

皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

☎ 茨城県総合福祉会館
TEL : 029-244-4545



募集

ニュースポーツの
用具を貸出しています。
(無料)

県社協茨城わくわくセンターでは、ニュースポーツ用具を無料で貸し出しています。

是非ご利用ください。



用具内容

グラウンド・ゴルフ、ディスクゴルフ、ベタンク、バグギー、輪投げ、ラダーゲッター、ポッチャ、オーバルボール、シャフルボード、ディスコン、ニチレクボール、ユニカールなど

貸出し場所

県社協（茨城わくわくセンター）、日立市、行方市、土浦市、下妻市、坂東市の各社協 県内計6カ所

申し込み

所定の借用申請書をFAXで送信してください。

詳しくは、
茨城県社会福祉協議会ホームページ

ニュースポーツ	検索
---------	----

☎ 茨城わくわくセンター
TEL : 029-243-8989

募集

本会会員を
募集しています！

茨城県社協の趣旨・目的にご賛同いただける会員の方を広く募集しております。

会員の皆様からいただいた会費は、県内の地域福祉向上のために活用させていただきます。

■会員種別

- ・正会員
県社協の趣旨・目的に賛同する社会福祉施設及び社会福祉団体等
- ・賛助会員
茨城県社協の趣旨・目的に賛同する個人または団体等

■会費

県社協の規程に従い、所定の会費を納入していただきます。

■会員特典

- ①県社協の実施する「社会福祉事業従事者研修」について、優先的に申し込むことができます。また、一部の研修を除いて、受講料が非会員に比べて2,000円/1日安くなります。
- ②民間社会福祉施設職員等退職手当支給制度に加入できます。

☎ 総務企画部
TEL : 029-241-1113

茨城県総合福祉会館 ご利用案内

茨城県総合福祉会館のコミュニティホール（定員 296 名）や各種研修室は、一般の方にも貸し出しを行っておりますので、お気軽にお問い合わせください。

また、駐車場の混雑状況はホームページでご案内しております。

ご来館の際の参考としてください。

茨城県総合福祉会館	検索
-----------	----



〒310-0851 水戸市千波町1918 TEL 029-244-4545 FAX 029-244-4548

わかち合おう小さな善意 ～みなさまからのあたたかいご支援を紹介します～

令和元年10月～令和元年12月 善意金などの預託と払い出し状況（敬称略）

交通遺児福祉基金 合計 1,130,000 円

学校法人つくば総合学院専門学校 つくば自動車大学校 130,000円
 (一社)日本自動車販売協会連合会 茨城県支部 1,000,000円

善意金 合計 5,368,667 円

(株)ライズ 10,127円
 伊藤 勇一 5,000,000円
 (株)ノーブルホームスタイルハウス事業部 8,540円
 水戸ヤクルト販売(株) 150,000円
 古河ヤクルト販売(株) 100,000円
 (社福)欣水会 100,000円



台風19号被害に関する支援金 合計1,435,050円

コープこうべ 1,000,000円
 Ecology Invest 100,000円
 岡山県社協 100,000円
 大阪府社協/市町村連合会 100,000円
 自民党茨城県連青年局 120,000円
 茨城県退職者連合 15,050円

台風19号被害に関する寄付物品(県内災害VCへ提供)

JT関東支社 水2L×6本入×30箱
 防災科学技術研究所 市街地拡大地図(災害VC設置の5市町)
 ポテトかいつか さつまいも(生) 5箱(1箱20^{キロ})
 県国体・障害者 スポーツ大会局 ポカリスエット30箱、ポカリスエット氷結用6箱、
 経口補水液5箱、天然水3箱、タオル3箱
 カスミ おにぎり130個、リンゴジュース紙パック144本

善意品

日産プリンス茨城販売(株) 車いす 8台 県内社会福祉施設
 (公財)いばらき文化振興財団 音楽劇「はらっぱのおはなし」招待 13名 県内社会福祉施設
 茨城県立県民文化センター
 常陽ボランティア倶楽部 子ども用車いす 5台 県内社会福祉施設
 リスカ株式会社 コンポタ30袋×2箱、しっとりチョコ20袋×2箱 県社協/県内社会福祉施設



自民党茨城県連青年局



学校法人つくば総合学院専門学校 つくば自動車大学校



(一社)日本自動車販売協会連合会 茨城県支部



茨城県ヤクルト協会



常陽ボランティア倶楽部



日産プリンス茨城販売(株)

使用済み切手・使用済みテレホンカード等

永井 敏雄 大和ハウス工業(株)茨城支社 西連寺 睦代 茨城労働局 労災補償課
 浅野 雄太 茨城県教育研修センター (株)サンアメニティ茨城支社 (株)風林

茨城県保健福祉部 福祉指導課・長寿福祉推進課・障害福祉課

石岡市・かすみがうら市・鉾田市・筑西市・城里町・日立市・土浦市・龍ヶ崎市・守谷市・五霞町・水戸市・坂東市・
 常陸太田市・常陸大宮市・大洗町・取手市の各社会福祉協議会

いばらきの社会福祉
 Social Welfare of Ibaraki

〒310-8586 茨城県水戸市千波町1918

TEL : 029-241-1133 (代)

FAX : 029-241-1434

ホームページ <https://www.ibaraki-welfare.or.jp>

Facebook <https://www.facebook.com/ibarakikenshakyo>

E-mail ibashakyo@ibaraki-welfare.or.jp



携帯電話で読み取るだけで簡単に「茨城県社協 HP」にアクセスできます